



2025年度(令和7年度)
峯 第1号 第44号(復活通巻)
2025年9月30日発行

I. 山行 公益事業等 報告	-	1~4
II. 行事等、報告、案内・連絡	-	5
III. 今後の予定	-	6

I. 計画山行・個人山行 報告

1. 深田祭と日向山(1,659.9m)

日時 : 2025年4月20日(日)、21日(月) 晴れ

メンバー : 樽矢、他1名

深田祭 初参加。 昨日は金沢から葦崎までの途中で日本三大桜の樹齢2000年以上と言われている山高神代桜を花見、綺麗な葉桜でした。

深田祭は碑前祭の少し前に受付して、近くの饅頭峠まで散策。 200人ほどの参加での深田祭は盛大に執り行われました。 献花させて頂き、解散。



今夜は北杜市武川に泊まり。

明日は天気も良さそうなので、日向山にでも。

昨夜はアグリーブルむかわで、ゆっくり、宿泊は私たちだけの貸し切り状態。

この宿はアルピニストでもある花谷泰広さんが経営されていますし、花谷さんは甲斐駒黒戸尾根七丈小屋も経営されています。

花谷さんのピオレドールの金のピックルの前で、現在活動されている北杜山守隊の登山道整備で少し話をさせて頂きました。



宿から山に登るなら朝食早くしますとの事で7時から早々に済ませて登山口へ。

本日は天空のビーチの日向山。



山梨県は4月25日までは山岳林道は全て冬季閉鎖、なので、登山口までは行けなくて、登山口の300m手前で通行止めの更に300m下の4台程おける所に駐車。

矢立石登山口から日向山三角点まで90分、天空のビーチと言われる、山頂の砂浜！ 甲斐駒ヶ岳も鳳凰三山や富士山、更に八ヶ岳や茅ヶ岳もスッキリと遠望。

今日は金沢まで帰宅なので、腹ごしらえを済ませて



名残り惜しいが、早々に下山。

下山途中で北杜山守隊の方と話をし、登山口までちょうど60分。

天気が良くハイキングコースで満足の日向山でした。

[文・写真：樽矢]

2. 久弥祭と富士写ヶ岳(941.8m)記念登山

日時 : 2025 年 4 月 27 日(日) 晴れ

メンバー : 樽矢、堀、大庭、埴崎、田井、尾山、徳田、長井、坂田、大幡 10 名

第 29 回久弥祭開催される

今年も例年通り 4 月第 4 日曜日の 4 月 27 日(日)午前 8 時から富士写ヶ岳山麓の九谷ダム広場で行われた。



日本山岳会石川支部は久弥祭実行委員会の中核として運営に参加した。今年も、良く晴れた青空のもと七十余名の参加があった。県内からは地元山岳会や一般参加の方、そして、日本山岳会本部からは引き継がれる山岳祭プロジェクトリーダー坂井広志氏、信濃支部の河西氏など遠方からの参加者もあった。

支部所属のメンバーは 10 人だった。



遠方からの参加者があったのは、日本山岳会が日本全国 13 カ所の山岳祭を取り上げ「引き継ごう 山岳祭」と題するパンフレットを作り広報活動している成果のようである。

式典は、開会挨拶などの後、献酒、献花、献句、朗読の順に進められた。献酒は久弥が最後の宿穴山温泉能見荘で飲んだと聞く「七賢」をグラスに注ぎ捧げる。

石川支部と石川労山の代表が交代で行っているが、今年は石川支部の担当で樽矢支部長が献酒を行った。

それから献花に移り参列者が一人一人菊の花一輪を手向けた。続いて「はつしほ俳句会」の方々により俳句が献じられ、最後に、深田久弥の作品の一節が朗読され式典を終えた。

今年は山岳祭のパンフレット「引き継ごう山岳祭」が本格的に印刷され、山岳祭を担当している支部に配られたので、参加記念品として皆さんに配られた。

式典終了後は、全員で記念写真をと撮ったあと、山頂方位盤の久弥さんに逢うべく富士写ヶ岳に登った。



石川支部のパーティーは、樽矢、堀、長井の 3 人と引き継がれる山岳祭プロジェクトリーダーの坂井さん、そして堀さんの友人 2 名の 6 人だった。



枯渕ルートから登ったが、坂井さんに大内ルートを紹介すべく大内へ下った。樽矢さんは枯渕へ下り、車を大内へ回す役を担った。



[文 : 大幡 写真 : 堀]

3. 久須夜ヶ岳(618.4m)

日時 : 2025 年 6 月 8 日 (日) 晴れ

メンバー : 出水、長井、堀

今年初の登山は、福井県の久須夜ヶ岳でした。

久須夜ヶ岳は、若狭地方の中央部に位置する、標高 619.1m の山で若狭湾に面する北側斜面は、極めて急峻で裾は断崖絶壁となっており、花崗岩が露出し多くの節理や海食作用による地形がみられ、特に「蘇洞門」などは名勝となっています。また、植生はヤブコウジやスダジイ群集、低木ではマサキ・トベラ群集など、海岸林特有の照葉樹林が分布しています。

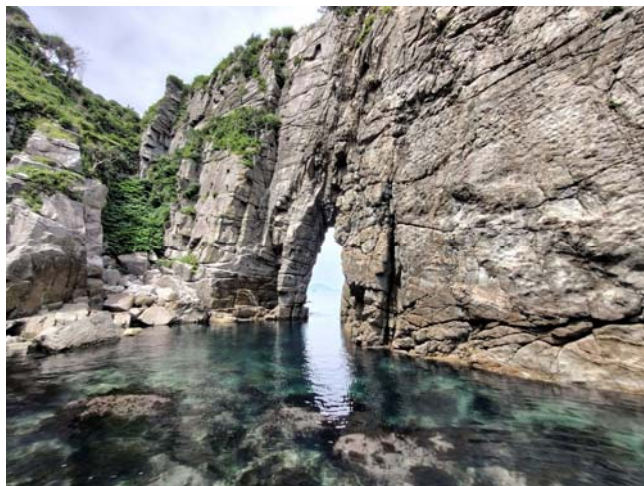
今回のルートは、往復ルートで、名勝「蘇洞門」へ向かう、下山から始まり、帰りは登るという、逆登山コースとなっています。



登山道は概ね整備されており、歩きやすいのですが、急峻のため、しっかりと膝に負担を与えてくれて、海岸部近くなると、急峻な階段となり、疲れた膝に止めを刺してくれます。



海岸に到達し、名勝の「蘇洞門」で一休みし、体力を回復させ、登りに備えました。



帰りの一発目の登り階段で、膝の疲れがピークとなり、後は急峻な登山道を、何とか這い上がる感じで、同行者に待ってもらいながらの行程でした。

久須夜ヶ岳の山頂は、駐車場を超えて少し登った所にあるので、ピークハントを済ませ、今回の登山は終了です。



自分にとっては、情けない結果でしたが、久しぶりの登山で楽しくもあり、同行者の堀さん長井さん、ありがとうございました。

[文：出水 写真：堀]

4. 富士写ヶ岳 登山道整備

日時 : 2025 年 6 月 28 日(土)

メンバー : 樽矢、大庭、田井、田中、尾山、藤井、黒崎

毎年の公益事業での登山道整備事業

今年は昨年できなかった小倉谷山から富士写ヶ岳への最低鞍部手前までの尾根筋を草刈りを実施しました。

毎年お手伝いを頂いている小松ブルーベル山の会さんから 10 名の参加を頂いて、登山口、8 時出発、今回の草刈り現場まで 3 時間かけて到着、周りはガスガスで日差しも柔らかく、汗をかかずに三班に分かれて作業を開始する。

どうも先々月ぐらいにざーと刈りばらいをしてい様で、ほとんど鎌を入れなくても良いぐらい、適宜小倉谷山まで戻って全員で昼食をとる、その後は長い尾根をゆっくりと滑らない様に下山、大内に帰着 15 時、石川支部から 7 名、総勢 17 名での草刈りでした。

下山後にマダニの話をしていると、T 会員のシャツにマダニを発見！ やはり気を付けないと噛まれることを実感しました。

事故怪我なく無事に終了して、大内にて解散式。

「私たちが全国の山を安心して登山道を利用させて貰っているのは、各地での登山道整備のおかげです。

地元では少しでも安全に登山道を利用してもらえて、山の楽しさを感じて貰えればとこれからも登山道整備事業は続けて行きます。」

と参加の皆さんにお伝えをして、本日の草刈りを終了しました。

参加の皆さんご苦労様でしたし、ありがとうございました。



[文・写真：樽矢支部長]

II. 行事等 報告、その他 案内・連絡

1. 会務報告

- ・総会 2025 年 4 月 5 日(水) 14 時～15 時 金沢市総合体育館第 3 会議室
支部議決権人数：39 名(議長を抜いて 38 名)
出席：11 名(議長含め 12 名)



- ・三水会 2025 年 5 月 1 日(水) 19 時～21 時 金沢市総合体育館第 3 会議室
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 埴崎 黒崎 5 名
議題 6 月の登山道整備の実施日を決定した(6/28 土曜) 梅雨の中休みを期待しての日程です
黒崎会員の犀奥 倉谷の金大ワングルのルーム(管理小屋)の状況や犀川ダムからの
湖岸道路の状況を写真を交えて報告頂きました。
道路は数か所抜けていて、高巻き道があるものの通行には十分注意が必要とのこと。
- ・三水会 2025 年 6 月 18 日(水) 19 時～21 時 金沢市総合体育館第 3 会議室
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 池本 黒崎 黒川 藤井 出水 8 名
議題 黒川課員の礼文島の写真はレブンアツモリソウを始めいろいろな花や利尻島などの
写真を説明頂きながら楽しませて頂きました。
登山道整備参加者の最終確認と整備箇所の確認を協議した。
- ・三水会 2025 年 7 月 16 日(水) 19 時～21 時 金沢市総合体育館第 3 会議室
参加 樽矢支部長 黒崎 2 名
議題 参加者各自多忙にて 2 名のみとなったので、二人で最近の山事情の雑談となる
次回の三水会は 8 月 20 日予定、又今後の予定として
・ 8 月 9 日、10 日 上高地山岳研究所集会 7 月 16 日時点で想定定員 15 名に達したので
参加募集は締め切りとした。
・ 10 月 26 日(日)、27 日(月) 全国支部懇親会 支部長参加予定
・ 11 月 9 日(日)、10 日(月) 日本真ん中 5 支部懇親山行 京都・滋賀支部主幹にて
滋賀県琵琶湖沖島にて
・ 12 月 6 日(土) 日本山岳会年次晩餐会
- ・三水会 2025 年 8 月 20 日(水) 19 時～21 時 金沢市総合体育館第 3 会議室
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 埴崎 藤井 5 名
議題 晩餐会の報告他
- ・三水会 2025 年 9 月 17 日(水) 19 時～21 時 金沢市総合体育館第 3 会議室
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 埴崎 池本 藤井あ 出水 長井 8 名
議題 プロジェクターにて個人山行記録上演、10 月山行の相談

2. 会員異動

物故

- ・村上 哲 (11892) 2025 年 8 月 8 日御逝去 84 歳

Ⅲ. 今後の予定

1. 行事予定

- ・10月26日(日)、27日(月) 全国支部懇親会 支部長参加予定
 - ・11月9日(日)、10日(月) 日本真ん中5支部懇親山行 京都・滋賀支部主幹 滋賀県琵琶湖沖島にて
 - ・12月6日(土) 日本山岳会年次晩餐会
- が予定されています。

[三水会 予定]

2025年10月15日(水) 19時～21時	金沢市総合体育館	第三会議室
2025年11月19日(水) 19時～21時	金沢市総合体育館	第三会議室
2025年12月17日(水) 19時～21時	金沢市総合体育館	第三会議室
2026年1月21日(水) 19時～21時	金沢市総合体育館	第三会議室
2026年2月18日(水) 19時～21時	金沢市総合体育館	第三会議室
2026年3月18日(水) 19時～21時	金沢市総合体育館	第三会議室

場所については会場の予約の都合上、変更になる可能性があります、
変更の場合は事前に連絡します。

編集後記

9月になり猛暑から解放されると思っていたが日中は夏日になる事も多く、長期予報では10月も高温が続くとの予報。それでも朝晩は涼しく秋の気配になっています。山の方も着実に秋に向けて紅葉が始まっています。今年の夏山シーズンは各地の山域で事故が多く、山域により例年の1.3倍～1.5倍の遭難件数だったとの事です。目立つ原因としては体力不足・経験不足・装備不足が多く、足が攣って歩けずヘリコプター救助、ヘッドランプを持たず暗くなり行動できず救助隊出動、ヘルメットを着用せず転倒し頭に受傷でヘリコプター救助、下界は猛暑だったので山も暑いだろうと防寒着を持たず低体温症で救助隊出動、等々、呆れる原因が多かった様です。これから山は冬に向かいます、自身の体調と装備を整えて事故無く楽しむようにしましょう。

日本山岳会 石川支部報

発行日 2025年(令和7年度)9月30日

発行者 公益社団法人 日本山岳会 石川支部

支部長 樽矢 導章

TEL/FAX : 076-237-5769

編集者 支部報担当 堀 正春

(事務局) TEL/FAX : 076-248-0175

E-mail isk@jac.or.jp

HP <https://jac-isk.com/index.html>

HPは更新を予定しています。

アドレスは変更になります。